

えだまめ生産動向および 販売支援について

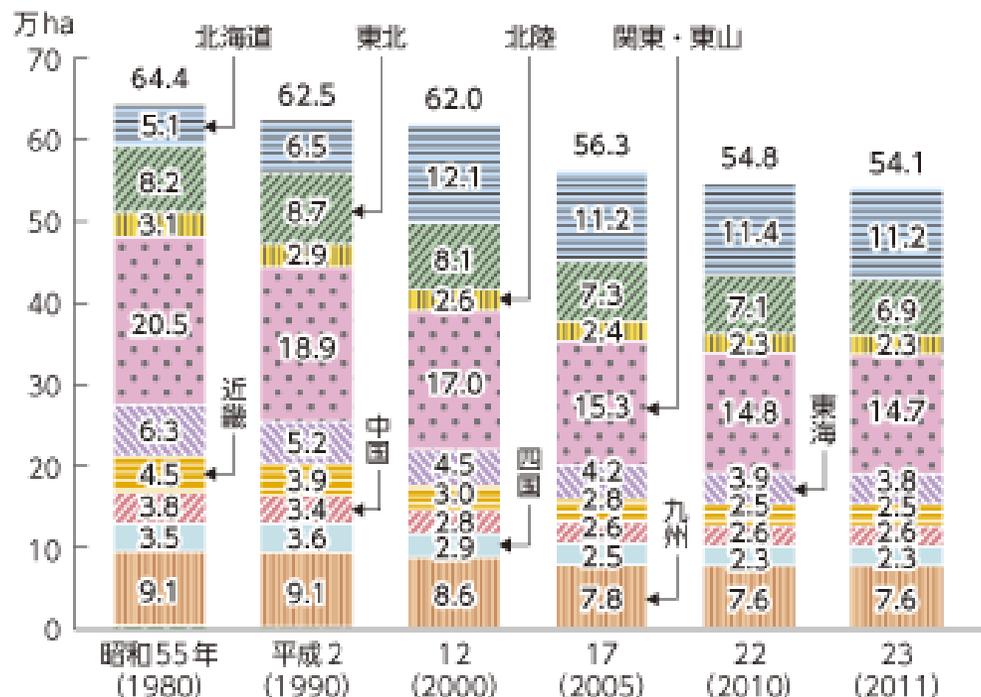
JA全農みやぎ 園芸・生産振興部 園芸販売課

目次

1. 青果物販売動向
2. えだまめ生産動向
3. えだまめ生産に係る課題
4. 選別および販売支援

1. 青果物販売動向

野菜の地域別作付延べ面積推移



資料：農林水産省「耕地及び作付面積統計」

東北地方は夏秋野菜の主産地であるが、生産者の高齢化と異常気象の影響で、近年、流通量は**不安定な状況**になっている。

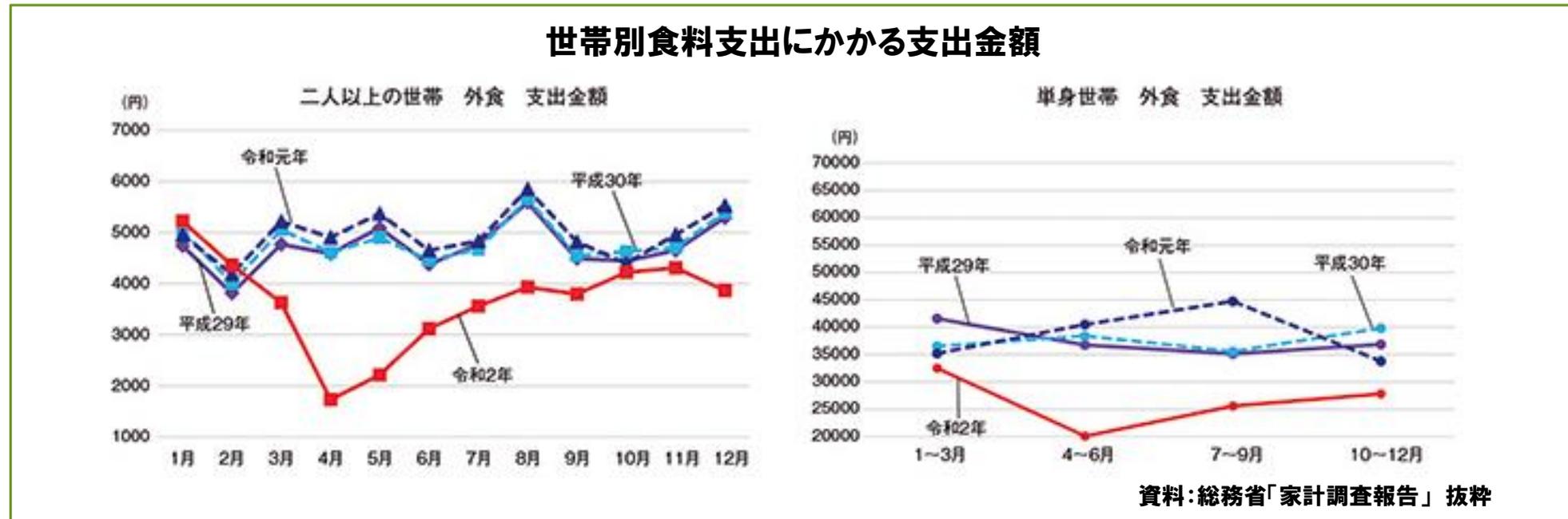
作業性や加工需要の減退から夏秋期における作付面積は**減少傾向**である。

1. 青果物販売動向

◎新型コロナウイルスによる消費の変化

コロナ禍で食料消費は、大きく変化している。外食などが大幅に減少する一方で、家庭内消費が大幅に増加している。

家庭内調理で使用する原体のほか、カット野菜、冷凍野菜、総菜の購入額が増加している。外出を控える傾向から、原体では貯蔵性の高い品目の需要が高まっている。特に外食が多かった単身世帯での増加が目立つ。



2. えだまめ生産動向

◎全国情勢

えだまめ収穫量TOP10(H23年産)

1位	千葉	7720
2位	埼玉	5630
3位	北海道	5550
4位	群馬	5140
5位	新潟	5060
6位	山形	5050
7位	秋田	4250
8位	神奈川	2930
9位	東京	1860
10位	岐阜	1600

農畜産業振興機構「ベジ探」、原資料：農林水産省「平成23年産野菜生産出荷統計」

えだまめ収穫量TOP10(R元年産)

1位	群馬	6230
2位	千葉	6120
3位	山形	6020
4位	埼玉	5720
5位	北海道	5660
6位	秋田	5580
7位	新潟	4870
8位	神奈川	2830
9位	兵庫	1690
10位	岐阜	1350

農畜産業振興機構「ベジ探」、原資料：農林水産省「令和元年産野菜生産出荷統計」

全国的な収穫量は関東産地が中心となっているが、近年東北産の収穫量が増えている。特に秋田県については、約1,300tほど収穫量が増えている。

2. えだまめ生産動向

◎宮城県情勢について

宮城県には「ずんだ」の文化が強く根付いていることもあり、えだまめの需要は根強い。近年水田からの転作でえだまめを新規で作付けしている生産者も増えてきている。

数量:t 金額・単価:円

農協名	R3年産実績			R2年産実績			前年対比		
	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
J A 仙台	71.01	622	44170	41.84	700	29293	170	89	151
J A 名取岩沼	33.40	461	15387	29.07	596	17325	115	77	89
J A 古川	27.84	506	14083	37.36	566	21158	75	89	67
JAみやぎ登米	23.93	431	10322	12.20	511	6231	196	84	166
JAいしのまき	20.47	487	9975	16.92	531	8987	121	92	111
JAあさひな	5.83	424	2470	0.28	614	172	2082	69	1436
JA加美よつば	3.90	489	1909	4.89	550	2691	80	89	71
JAいわでやま	3.42	435	1486	6.79	550	3736	50	79	40
J A 南三陸	0.83	654	543	2.41	763	1839	34	86	30
JAみやぎ仙南	0.76	505	384	0.82	616	505	93	82	76
J A 栗っこ						1			
当年合計	191.39	526	100729	152.58	603	91938	125	87	110

出荷量実績において、前年対比125%となっている。

3. えだまめ生産に係る課題

①収穫から出荷までの工程が多い

②精選別作業に多大な労力が発生する

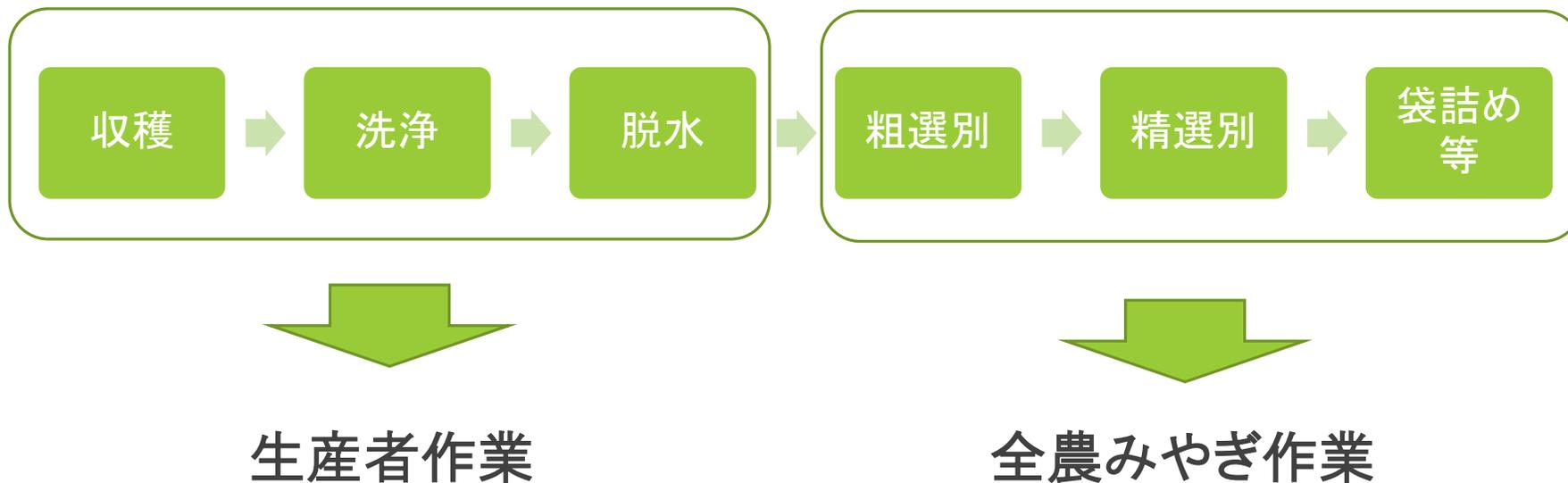
**⇒令和3年度より全農みやぎにて
選別支援を開始**

4. 選別支援および販売支援

(1) 選別支援について

令和3年度に全農みやぎにて精選別機を含めた選果ラインを導入。
作業に労力のかかる粗選別以降の作業を実施している。

作業イメージ



4. 選別支援および販売支援

選果ライン体制について



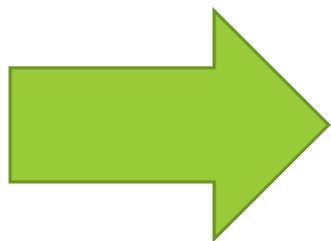
えだまめ供給ホッパー GSH-1型



えだまめ選別機セット GS-5SPL型



枝豆精選別機



えだまめ精選別作業風景

4. 選別支援および販売支援

(1) 選別支援について

○全農みやぎ選果施設稼働状況

令和3年産においては、2カ所の農協分を全農みやぎ選果施設にて選別を実施した。

⇒面積は約9.7haとなった。

令和4年産についても、2カ所の農協分を中心に全農みやぎ選果施設にて選別予定となっている。選果予定面積は昨年を上回る約13.5haとなっている。

4. 選別支援および販売支援について

(2) 販売支援

○えだまめ統一資材の作成

えだまめの出荷資材となる「発泡」「段ボール」「袋」を作成



宮城県産えだまめの売場確保を目指す

4. 選別支援および販売支援について

(2) 販売支援

○えだまめ宣伝活動の実施

・収穫体験の開催

生産者に協力いただき、消費者対象に収穫体験を実施。
今年度についても開催予定となっている。



4. 選別支援および販売支援について

(2) 販売支援

○えだまめ詰め放題の定期開催

量販店と協力し、えだまめ詰め放題を定期的で開催した。

特に数量増量期、品種の切り替え時にPRも含め開催をした。



最後に

宮城県産えだまめの販売拡大に向け関係機関と協力し、ブランド確立を目指す

